

# 神無一族の氾濫

担当 神無七郎

今回の「氾濫」のお題は「利きのない駒」です。普通詰将棋では盤上に利きのない駒は存在してはいけません。そこで、今回は利きのない駒が初形や途中局面に登場する作品を集めました。中には「駒」というより「特殊なマス」と解釈すべきものもありますが、今回はそれも含めています。

## 【ルール説明】

【●】不透過・不可侵の領域を表す。飛び越すことは可能。

		1
		2
3	●	●
	●	●
	角	香

一 二 三

例えば上図で、

12香や11香成は不可。

22角や11角は不可。

11桂成や31桂成は可。

【背面】敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入れ替わる。

【ステイルメイト】王手は掛かっているが合法手のない状態にする。

【マドラシ】同種の敵駒が互いの利きに入ると、利きがなくなる。成駒と生駒は別種の駒として区別する。

【アンチキルケ】駒取りがあったとき取った方の駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される。

(細則)

1. 成駒は成ったまま戻る。

2. 戻り位置に駒があったり、自玉に王手が掛かったりするため、戻れない場合は戻らない。

3. 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。

4. 金銀桂香(及びその成駒)が5筋で駒を取り、複数の戻り先候補がある場合、戻る位置を選択できる。

【安南】味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

(補足) 性能変化ルールでは、性能変化で利きが復活しうる位置であれば

利きのない駒の存在も許されます。つまり、安南や背面はどこに駒があっても良く、マドラシは通常の桂香歩に関する禁則が適用されません。

【今回の出題作について】

①は通常のばか詰です。直接的には「利きのない駒」は登場しませんが、それにちなんだ作品です。

②は●の使用の他、受方持駒を制限しています。

③以降はどれも性能変化を伴うルールです。初形では「利きのない駒」はありませんが、途中から利きのない駒が登場します。

## 懸賞

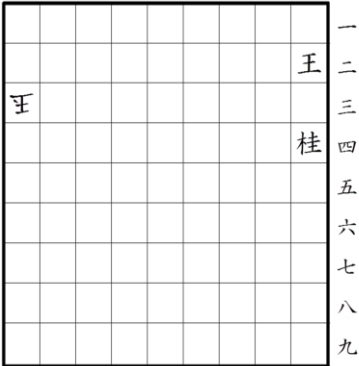
▼締切12月末日。呈賞5名。解答は編集部または左記のアドレスへ

Email: janaeck789@yhb.ne.jp

▼評価点不要。短評歓迎。1題の正解でも呈賞の対象となるので解けた分だけでも解答を送って下さい。

④上谷直希

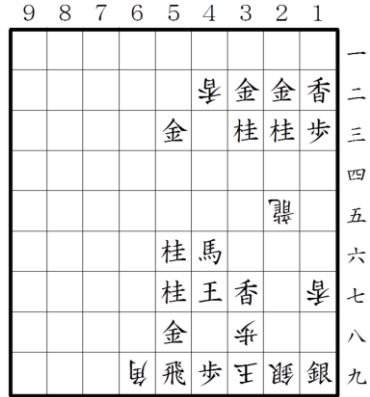
アンチキルケマドラシばか自殺詰 8手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 飛角

①神無七郎

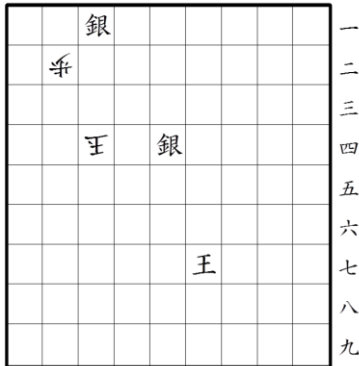
ばか詰 93手



持駒 歩15

⑤神無太郎

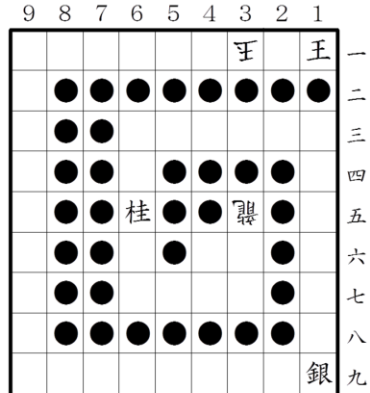
背面ばか自殺スタイルメイト 12手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 飛2角2

②たくぼん

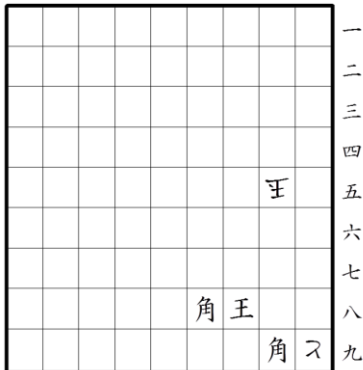
ばか自殺詰 150手



攻方持駒角金4銀2桂歩4  
受方持駒なし

⑥神無太郎

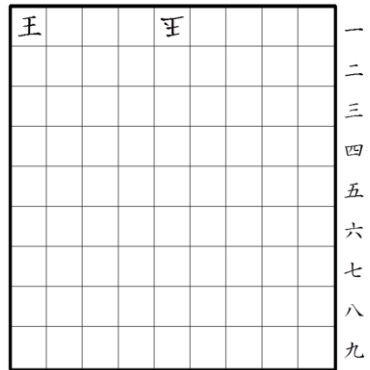
安南ばか自殺スタイルメイト 16手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 飛桂4

③神無三郎

背面ばか自殺スタイルメイト 8手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 香歩